



第4回

2017年

12/17(日)

9:00~16:00

雨天決行

荒天中止

猪名野神社の市

—古本とクラフト&アート・雑貨—

魅力ある古書店による古本市と作家・クリエイターの作品や
オリジナル性のある雑貨製品による手づくり市など

軽食や飲み物の出店もあり!



プレゼントを見つけよう!



猪名野神社

兵庫県伊丹市宮ノ前3-6-4

演奏

♪ フрутと小さなハーブの行灯社



17日は「いなじんいち」の日

毎月17日の開催を目指しています!

<http://inano-ichi.com/>

●この事業は「阪神北会學づくり応援事業」による助成を受けています。 ●ご来場者用の駐車場はございません。

猪名野神社の市 —古本とクラフト&アート・雑貨—

伊丹の歴史的シンボルであり、落ち着いた佇まいが魅力の猪名野神社の参道・境内で、素敵な作家の手によるオリジナル性にあふれたクラフト&アート作品と、個性的なセレクトの古書の市を17(いな)の日に開催!



酒造のまち伊丹と猪名野神社

今は昔、江戸初期に「澄み酒(清酒)」造りに成功した伊丹では、公家領主の近衛家の庇護を受け、酒造業が大いに発展しました。

元禄期には、「伊丹諸白(いたみもろはく)」と称された伊丹の酒が樽廻船で運ばれ、下り酒として江戸を席卷。「丹醸(たんじょう)」の名で全国に知れ渡り、将軍家にも御前酒として供されました。

最盛期には80軒以上の酒造家が軒を連ね、「伊丹郷町(いたみごうちょう)」と呼ばれた伊丹のまちは、元禄期の文豪・井原西鶴や近松門左衛門、江戸後期の漢学者・頼山陽をはじめとする文人墨客を惹きつけ、俳諧などの文化が花開きます。

平安時代(904年)よりこの地に鎮座する猪名野神社は、伊丹郷町の氏神として町衆の信仰を集めてきました。境内には、江戸期に酒造家らにより奉納された立派な石灯笼が立ち並び、まちの繁栄を物語っています。かつての祭礼では、「御渡御(おわたり)」と呼ばれる、神輿を中心とした華やかな祭装束の行列が街道を練り歩き、遠方の町や村からも多くの見物客を集めていました。今また、伊丹の歴史を見守り続けてきた猪名野神社は、市内外から訪れる人々の交流の場として注目を集めています。



▲『摂津名所図会』(1798年)に描かれた猪名野神社の全景(野宮(ののみや)は江戸時代の旧称)



出店者大募集

猪名野神社の市では、出店者を広く募集しています!

- 古書(古書販売業者に限る)
- 作家やクリエイターによる作品、オリジナル性のある雑貨製品等
- 飲食(軽食のみ。出店に必要な許可書保有者に限る)

詳しくは、「猪名野神社の市」WEBサイトをご確認ください。
<http://inano-ichi.com/>



猪名野神社へは、JR・阪急伊丹駅から徒歩約12分!

伊丹駅までの所要時間

[JR] 大阪から約15分 / 三ノ宮から約25分

[阪急] 梅田から約20分 / 神戸三宮から約30分